

ねぎぼうず便り



平成25年10月 秋号 Vol.12



学校法人
藍香学園 深谷大里看護専門学校

副校長 小嶋 むつみ

例年晴れた日には、 何処からともなく漂ってくる金木犀の甘い香りに秋の訪れを感じ、ひととき和み、優しい気持ちになれたものです。しかし、今年は猛暑や強い雨の影響でしょうか、ほとんど楽しめないまま秋が深まってしまいました。

学問の秋そして読書の秋ですね。夏の喧騒が去り涼しくなるとともに、夜も長くなるこれからの季節は、落ち着いて学習に取り組める季節です。また、じっくり時間をかけて一つのことを考え続けるのも良いでしょう。そしてスポーツの秋です。古代ローマの詩人は、健全な精神と健全な肉体双方の重要性を諷刺詩において述べました。看護師にとって頑健な身体は欠かせないものです。スポーツにも取り組み健康な身体を育み、体力づくりにも励みましょう。また勉強やスポーツに真剣に取り組むことは、精神力も養うこととなり人間としての成長も期待できます。

2020年オリンピックの開催都市が東京に決まりました。7年後、スポーツ医学の分野に携わる看護師としてアスリートを支えている人もいるかもしれません。あるいは医療班のボランティアのリーダーとして活躍しているかもしれませんね。

毎日多忙な生活をしていると、目先のやらなければならないことに追われ、過ぎてしまいがちですが、時には7年後、10年後の自分の姿を思い描いてみましょう。どんな風に過ごしているでしょうか。未来の自分は堂々と輝いて、幸せにいるでしょうか。7年後、10年後の自分は、突然やってくるわけではありません。今、このときをどう過ごすか、今の積み重ねが将来の自分につながっているのです。輝かしい将来に向かって進んでいるのだと考えると日々の忙しさも、つらいと感じることも、違って捉えられるのではないのでしょうか。

国家試験を

受験する皆さん、後4ヶ月となりました。色々な誘惑や欲求に負けないで、国家試験を中心に生活を組み立て、寸暇を惜しんで勉強に取り組んでください。合格発表を手に家族の方や級友、職場の方や先生達と喜び合っている姿を想像して頑張りましょう。豊富な知識が身につけば深い洞察力もつき、判断を誤らない看護師になれます。また色々な角度から援助の工夫も考えられるようになり、患者様からはもちろん、医師や一緒に働く仲間からも信頼されます。困難に立ち向かい、それを乗り越えた人だけが手に入れることのできる喜びを味わいましょう。



基礎看護学実習Ⅱを終えて 2年 圓岡 加奈子

私は基礎看護学実習Ⅱに行き、基礎看護学実習Ⅰに比べより深い学びを得ることができました。今回の実習では、看護過程を用いて患者様の全体像を把握し、未充足の部分に対して問題点を挙げ、具体的な援助計画を立案しました。そして、援助の際は落ち着いて実施するように心がけました。これにより以前より患者様に目を向けられるようになりました。

また、よりリハビリや退院後の生活に対する不安等に気づくことができ、個別性について考えられるようになりました。そのことによって、自然と患者様との心の距離は近くなり、背部痛と凝りの軽減のためホットパックを実施しました。すると、「だいぶ良くなったよ。いろいろ考えてくれてありがたいよ」と、おっしゃり、笑顔を見せて下さいました。私は、個別性を考えたよりよい看護を実践できたことが実感でき、嬉しくなりました。11月から始まる領域別実習では、様々な患者様と出会う中で、更に看護観を深めていきたいです。





やりがいを感じた体験入学

2年 境野 美子

今年の夏休み、2年生が主体となり体験入学を行いました。本校の魅力や特徴を伝えるため、全員がそれぞれ力を合わせて、校内を案内しました。また、模擬授業では、衛生的な手洗い・A TP拭き取り検査・血圧測定を行いました。今まで自分達が学習してきた知識を、相手に伝えるのは初めての経験でした。新しく入ってくる後輩のため模擬授業・資料作り・練習を行い、当日は緊張や不安な気持ちがありました。しかし、来て下さった方々の真剣に話を聞いて下さる姿や、積極的に参加して下さる姿勢を見てみると、私自身も頑張らなければ、という気持ちになりました。

交流の場では、二年前の自分を思い出し、見学に来て下さった方々の立場を考えながら対応しました。参加して下さった方から、本校に入学したいという言葉が頂け、初めての経験でとまどう事もありましたが、やりがいや達成感を得ることができ、貴重な体験となりました。



交通訓話を聞いて

1年 林 七緒美

9月12日金曜日、私たちは深谷警察から来られた婦人警察官の方から、交通事故や性犯罪・薬物に関する犯罪についてのお話を聞きました。私はこの夏休みに運転免許を取得しました。婦人警察官の方のお話の中で今後注意したいことがありました。それは、車の鍵を離れた場所から開けることで、先に知らない人が車に乗り込んでしまうことがある、ということでした。私も、暗くなり駐車場で車が見つからないと、普通に行っていたので、これからは気をつけたいと思います。



また、罰金刑以上の交通違反をしてしまうと、看護師国家試験の免許申請の際に条件が付くことを知りました。そのため、車を運転する時は、十分注意して交通違反をすることのないように心がけたいと思いました。

調理実習

6月26日に代謝栄養学の授業が行われました。調理実習で糖尿病食としてカロリー制限のメニューを作ったり、高齢者が飲み込みやすくするため味噌汁にとろみをつけたりしました。

調理後の試食では、これまで経験したことのない独特の食感に皆が盛り上がりました。



職場説明会

7月11日に深谷赤十字病院をはじめ地元、埼玉各地の病院から卒業生が来校しました。就職先選択に関わる重要な催しとなるため、皆、熱心に説明に聞き入っていました。後半に開かれた個別説明の部でも、個々の病院のブースで真剣に質疑応答している様子が見られました。



献血表彰

7月26日に浦和商工会議所において『第44回 彩の国さいたま 愛の血液助け合いの集い』が開催され、献血に協力している団体のひとつとして、本校が表彰されました。





看護過程面接授業に参加して

通信制1年 一丸 由美子

私は入学後、自宅での学習に不安がなかったわけではありませんが、通信制なので、先生や友達に毎日会うこともできず、また相談したくてもできずに、常に向き合う相手は自分でした。

しかし、3日間の面接授業を受け、グループワーク等を通して友達も出来、また先生とも話をする時間があり、学習への不安は少し解消されました。全日制とは違い毎日授業を受けることができないので、有効な学習をしようとして一生懸命授業に参加したためか3日間がとても短く感じました。10年以上の臨床経験があることで余計な知識もあり新鮮な考えができない部分もありました。

看護過程の学習は、毎日私が臨床で行っている観察やアセスメント、援助を言語化し文章に表すことでしたが、考え、いざ文章にしてみると簡単なものではありませんでした。言葉でも「充足、未充足」という言葉がありますが理解するまでに時間がかかりました。そしてグループメンバーのそれぞれの経験に違いがあり、意見や考えが異なるためディスカッションはとても充実したものとなり、大事なことだと思いました。

私は、救急外来所属のため普段は看護計画を立案することはありません。患者様の背景はよく見て、よく観察しますが書面に記載することがないため、面接授業はとても大切な3日間になりました。正直なところ3日間では足りないとも思いました。

自宅から学校が遠いこともあり、ちょっと学校に行って質問するというわけにもいきません。通信制は本当に個人の努力、頑張りの積み重ねだと思います。短い2年間、1日1日を大切に、仕事、学校、家庭と頑張っていきたいと思います。



老年看護学実習を終えて

通信制2年 岩崎 いづみ

若葉の生える5月に面接授業を受け、翌日、病院での2日間の見学実習を経て、日差しが強くなってきた7月、老年看護学の最終日を迎えました。

初日の面接授業では、自分たちが考える高齢者像を描き、生理的老化とその根拠について考えました。他のグループの発表を聞くことで、自分たちが気づかなかったことや学習が不足していた部分に分かり、高齢者の特徴について学習が深まりました。

見学実習では、「地域に密着した医療」を理念に掲げている佐久総合病院で、一人の患者様に対し多職種で関わり、生活歴や家族背景を大切にされた関わりを学ばせて頂きました。患者様だけでなくご家族も安心できるケアの提供が行われていると感じました。

また、対象の障害、残されている機能に合わせたりハビリテーションや科学的根拠に基づいた援助を見せていただきました。患者様や家族の想いや価値観を尊重し、寄り添い、関わりを深めることで、信頼関係が築けること、より良い看護に繋がることが学べました。

准看護師として10年以上の経験はあるが、経験したことがない部分に気づかされたり、学習不足を実感することで初心に戻ることができ、学習していく事に前向きになり知識を積み重ねることができました。

後半の授業では、科学的根拠に基づいた援助についてグループで話し合いました。実習での学びをディスカッションするなかで、実習中の指導者の方のアドバイスの意味や授業のなかの先生の説明等が明確になっていくことを実感しました。



虹がかかる日

9月25日の夕方、校庭の東の空に虹がかかりました。この虹が学生一同の未来への懸け橋となってくれるといいですね。

特別講演『看護師という生き方』

を聴いて

1年 田島 由佳

今回、宮子あずさ先生のお話を聞いて、先生はとても温かく、ユーモアのある方だと感じました。先生の話をしている先輩方や先生方の表情は常にこやかで、楽しかったです。このように他の人を笑顔にできる先生の人柄は先生の看護人生の中にあふれていました。例えば、慢性腎不全を患っているH氏のお話で、H氏は先生以外の人には痛みを訴えず、先生だけにこっそりと訴えていたそうです。その痛みを取るためにとった先生の行動には会場が笑いに包まれました。

また、足の痛みを訴えていたK氏のお話の中で先生がおっしゃった「顔が思い出せるケアをしなくては」という言葉は、とても印象に残りました。ケアばかりに必死になってしまい、患者様の顔をまったく見ていなかったそうです。私も一つのことをやると周りが見えなくなってしまいがちなので、このことを覚えておき、ケアする立場になった時に生かしたいと思います。

そして、一番印象に残った言葉は、「看護師は向いてる、向いてないではなく、やりたいか、やりたくないかである」という言葉です。私も、ふとした時に「私はこの道に向いているのかな」と考えてしまう時があったので、この言葉を聞いて考えを変えることができました。この先、悩むことがあったらこの言葉を思い出したいと思います。

今回、先生のお話を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。



講演会の学び

3年 岩瀬 裕也

先日の講演会では、宮子あずさ先生より「看護師という生き方」というテーマで、看護師として働いていて体験した出来事を話して下さいました。

印象として自分の失敗談をこちらが楽しめるように話して下さいました。私は失敗が多く正直そのことを誰かに知られたくはありません。それを踏まえ何故話して下さいましたのか考えました。それは失敗から得たものがあり、それが今につながっているからだと思いました。講演を聞き、失敗をマイナスに捉えるものではなく成長するためのものだと考え色々なことを積極的に体験してみようと思えました。

また先生は患者様に大変愛されていると感じました。それは常に患者様と正直に接しており、それにより強い信頼関係を築けるのだと思いました。

4月から臨床に立つ者として失敗をマイナスに捉えないで、失敗から学び成長して患者様に信頼される看護師になりたいと思いました。



編集後記：北埼玉も急に涼しく、というよりむしろ寒くなってまいりました。ほどよい気候の、本来の日本の秋をもっと堪能できればと思います。(村井)

深谷大里看護専門学校 3年課程 選考日程

	社会人入試(第2回)	社会人入試(第3回)	一般入試(第1回)	一般入試(第2回)
試験日	平成26年1月31日(金)	平成26年3月14日(金)	平成26年1月31日(金)	平成26年3月14日(金)
出願期間	平成26年1月9日(木) ～1月23日(木)必着	平成26年2月7日(金) ～3月10日(月)必着	平成26年1月9日(木) ～1月23日(木)必着	平成26年2月7日(金) ～3月10日(月)必着
合格発表	平成26年2月6日(木)	平成26年3月17日(月)	平成26年2月6日(木)	平成26年3月17日(月)

准看護師対象 2年課程通信制 選考日程

	第3回	第4回
出願期間	平成25年11月5日(火) ～11月12日(火)必着	平成25年12月2日(月) ～12月9日(月)必着
合格発表	平成25年11月19日(火)	平成25年12月17日(火)

ねぎぼうず便り秋号 平成25年10月28日発行
発行元:学校法人藍香学園 深谷大里看護専門学校
編集委員会 〒366-0019 埼玉県深谷市新戒749-1
TEL:048-587-1370 (3年課程)
048-501-2730 (2年課程通信制)